

熊本学園大学 教員免許更新講習 シラバス(必修領域)

講座名	教育をめぐる現代的動向
主な受講対象者	中学校・高等学校教員 * 小学校教員も希望により受講することは可能ですが、講習は中学校・高等学校教員を対象とした内容であることにご注意下さい。
実施日	平成 24 年 8 月 1 日(水)～2 日(木)
開講時間	第 1 日目(8 月 1 日):9:00～17:00 第 2 日目(8 月 2 日):9:15～17:15
会場	熊本学園大学
試験の方法	筆記試験
講座概要	<p>本講習では、必修領域として示された 4 項目についての理解を深めるために、6 つのテーマを設定し、講義等を行います。受講者の多様なニーズに対応するため、本講習は、専門分野の異なる複数の教員(主に本学教職課程専任教員)が担当します。各テーマとその概要は以下のとおりです。</p> <p>①「データからみる現代の学校」(担当:伊藤友子) 近年の学校を巡る状況変化について、生徒の学力や生活・意識についてデータをもとに詳細に考察したい。次に、学校のもう一方の当事者である教師の置かれている状況や学校教育に対する保護者の意識や意見について分析する。</p> <p>②「専門職としての教師の役割」(担当:軽部勝一郎) 現代日本における子ども像をふまえ、今日の教育を担う者に求められる視点・視野を提示するとともに、西洋近代の教育思想を紹介し、教育的愛情や倫理観について改めて見つめ直すための一助としたい。</p> <p>③「子どもの心理的発達の理解と学習指導」(担当:中村光伴) 子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容を紹介し、子どもの心理的発達と課題について考察する。さらに、教育心理学や認知心理学での知見を活かした学習指導についても紹介する。</p> <p>④「カウンセリングと子ども支援」(担当:中村光伴) 子どもの発達に見合った指導をするためには、平均的な発達に加え、遅れ、偏りを持つ子どもたちにも対応する力が求められている。そこで、すべての教師がカウンセリングマインドを理解する必要性について検討する。さらに、特別支援教育に関する新たな課題として、教師が LD、ADHD 等に気づくポイントや具体的な支援方法について教科指導、生徒指導の両面から検討する。</p> <p>⑤「変容する日本の教育—教育政策の動向—」(担当:藤田祐介) 近年における教育関係法令(教育基本法、学校教育法等)の改正と学習指導要領の改訂内容を、社会変動に関連付けながら検討することを通じて、日本の教育改革の特徴や問題点、また、現在求められている学校教育のあり方について理解を深める。</p> <p>⑥「学校内外における連携協力についての理解」(担当:森和則) 我が国における近年の学校と社会状況の変化を踏まえ、学校の内外における各種課題(保護者・地域社会との連携等)に対する組織的な対応の在り方、学校における危機管理上の課題(校内外の安全確保等)について、実践事例を交えながら客観的かつ具体的に省察する。</p>
その他	